

単元名

もう すぐ 2 年生

教科書 上巻 p.109～117 単元の配当時間 13時間／活動時期 2～3 月

単元の目標

入学してからの1年間を振り返ったり、新しい1年生（年長児）との関わりを深めたりする活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかるとともに、これからの成長への願いをもって意欲的に生活することができるようにする。

小単元の目標と評価例

※ここに示した例は、啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

小単元名と小単元の目標	評価規準（おおむね満足できる）		十分満足できると見取る児童の具体例	努力を要する児童への支援
1 年かんを ふりかえろう （1時間） 入学してからの1年間の活動や行事、学習などを振り返り、楽しい思い出や発見、たくさんの経験を積み重ねてきたことに気付くことができるようにする。	知	入学してからの1年間で、楽しい思い出や発見、たくさんの経験を積み重ねてきたことに気付いている。	たくさんの思い出の中には、お世話になった人がいること、その折々に周りの人に支えてもらいながらできるようになったことが増えたことに気付いている。	●入学してからの写真や動画をもとに、どんな思い出があったか、何が楽しかったのかなどを考えるように助言する。 ●教科書上巻p.110～111の写真を参考に、自分も経験したことがないかを考えさせる。 ●友達の「たのしかった おもい出ランキング」を見たり、友達の話を聞いたりして、自分のランキングを作成する際に参考にさせる。
できるようになったことを あつめよう （4時間） 入学してからの写真や動画、記録カード、作品などから、これまでを振り返り、まとめたり、伝えたりする活動を通して、自分でできるようになったことや自分の役割が増えたことなど、自分が成長したことに気付くことができるようにする。	知	自分でできるようになったことや自分の役割が増えたことなど、自分が成長したことに気付いている。	学習面や身体面の成長だけでなく、「我慢できるようになった」「友達に優しくできるようになった」など、精神面の自分の成長やよさに気付いたり、自分の成長だけでなく、友達の成長やよさに気付いたりしている。	●学期末ごとの「振り返りカード（教科書上巻p.47、92）」を活用し、できるようになったことに気付けるように促す。 ●友達との相互評価の時間を十分に確保する。 ●教師が感じているその子どもの成長やよさを伝え、自信をもたせる。 ●教科書上巻p.113の「できるようになったこと（水色の画用紙）」の付せんの内容を参考にさせる。
	思	入学したころの自分と今の自分を比べて、できるようになったことや得意になったことを振り返り、まとめたり、伝えたりしている。	入学したころの自分と今の自分を比べて、できるようになったことを具体的に捉え、「〇〇ができるようになったのは、あとき頑張ったから」「〇〇ができるようになったのは〇〇さんが教えてくれたから」など、自分の成長の理由を考えたり、まとめたり、伝えたりしている。	●できるようになったことの例をあげたヒントカードを用意し、入学当初の自分と具体的な内容で比べられるようにする。 ●口頭の発表や文字によるまとめに限らず、動作化、写真を活用したスライドショーなど発表の方法を多様化する。
	態	自分の成長をもっと知りたいという思いをもって、これまでを振り返ったり、まとめたりしようとしている。	これまでの記録カードや作品だけでなく、家の人やお世話になった人に「私のよいところを教えてください」「入学したころはどうでしたか」など具体的にたずねて、自分の成長やよさをさまざまな視点で捉えようとしている。	●学期末ごとの「振り返りカード（教科書上巻p.47、92）」から、自分の成長を実感させ、活動への意欲を高める。 ●できるようになったことを「きりりん」、いちばん伝えたい自分ができるようになったことを「ベストきりりん」など、子どもにとって魅力的なネーミングにすることで、主体的な活動につなげる。

単元の評価規準

●知識・技能

入学してからの1年間を振り返ったり、新しい1年生（年長児）との関わりを深めたりする活動を通して、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかっている。

●思考・判断・表現

入学してからの1年間を振り返ったり、新しい1年生（年長児）との関わりを深めたりする活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えている。

●主体的に学習に取り組む態度

入学してからの1年間を振り返ったり、新しい1年生（年長児）との関わりを深めたりする活動を通して、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとしている。

小単元名と小単元の目標	評価規準（おおむね満足できる）		十分満足できると見取る児童の具体例	努力を要する児童への支援
あたらしい 1 年生を しょうたいしよう （6時間） 新しい1年生に喜んでもらえるように、 1 年前の自分たちのようすを振り返りな がら、学校のことをわかりやすく伝えたり、 学校の楽しさを伝えたりするための 準備や取り組み、関わり方を考え、あたたかく 優しい気持ちで1年生を迎えることができるようにする。	知	新しい1年生のために自分たちにできることがあることや関わる ことの楽しさ、そのよさに気付いている。	1 年前に今の2年生に優しく迎えてもらったときと同じように、 新しい1 年生に優しく接することができるように なった自分の成長に気付いたり、相手を思いやって計画・ 実行することのよさや楽しさに気付いたりしている。	● 1 年前に今の2年生に優しく迎えてもらったときのことを 思い出させて、自分の成長を感じられるように支援する。 ●自分の役割が果たせた喜びや、新しい1 年生に優しく接 することができた達成感を味わうことができるように、子 どもを認め、褒めるようにする。
	思	新しい1 年生が喜んでくれそうなことを相手の立場になって考 えたり、予想したりしながら、計画や準備をしている。	1 年前の自分のようすを思い出したり、相手の立場を考え たりしながら、「漢字は習っていないからひらがなで招待 状をかこう」「もっとゆっくり話したほうが年長さんには わかりやすいよ」など、伝える内容や方法を工夫してい る。	●新しい1 年生に学校生活について教えたいこと、してあ げたいことを考えさせながら、思いや願いを聞き出してい く。 ●新しい1 年生を迎える活動に具体的なイメージがもてる ように、昨年度のようすを撮影した写真や、教科書上巻 p.114 ～ 115 のイラストや写真を提示する。
	態	新しい1 年生に喜んでもらえるように意欲的に活動しようとし ている。	新しい1 年生が喜んでくれる姿をイメージしながら友達と 協力して計画したり、当日は積極的に新しい1 年生と関 わったり声をかけたりしようとしている。	●自分たちが今の2年生に優しく迎えてもらったことを思 い出させたり、新しい1 年生がどんな気持ちで入学してく るかを考えさせたりする。 ●本単元までに幼稚園や保育所、こども園などと交流活動 を行っている場合は、そのときの活動の写真を例示し、 「この子たちに喜んでもらいたい」という相手意識がもて るようにする。
しょうたいした ことを ふりかえろう（2時間） 新しい1年生との交流を振り返り、自分 の役割が果たせた喜びや達成感ととも に、自分の成長やよさに気づき、2年生 への期待や希望をもって、意欲的に生活 しようとするができるようにする。	知	新しい1 年生との交流を通して、できるようになったことや自分 の役割が増えたこと、自分の成長やよさに気付いている。	新しい1 年生への優しい気持ち、自分の役割を果たせたこ とへの達成感や自分の成長などに気付くとともに、2 年生 に向けての可能性に気付いている。	●前時の新しい1 年生との交流のようすを撮影した写真や 動画を提示する。 ●自分の成長に自信がもてない子どもには「新しい1 年生 は喜んでいたかな？」「どんなふうに関わったかな？」な ど教師が個別に声かけを行う。
	態	新しい1 年生と積極的に関わるのができた達成感や自分の成長 を実感し、2 年生に進級する喜びの気持ちをもって、意欲的に生 活しようとしている。	2 年生に向けて挑戦したいことやしてみたいことを具体的 にイメージしたり、自分のよさや可能性をさらに伸ばした いという思いをもったりしながら、意欲的に生活しようと している。	●前時で関わった幼児施設の教職員や新しい1 年生からの 感想や手紙を紹介し、自分たちの活動について振り返らせ る。 ●2 年生になってからの活動の見通しがもてるように、生 活科教科書下巻を見せて、期待感を高める。 ●今の2 年生に、2 年生になってからの学習内容や生活に ついて話してもらい機会を設定する。